

## 27PW-am002

足むくみに対する硫酸マグネシウム含有炭酸ガス入浴の有効性

○渡邊 智<sup>1</sup>, 石澤 太市<sup>1</sup>, 谷野 伸吾<sup>1</sup> (<sup>1</sup>ツムラ ライフサイエンス)

<目的> 足むくみは、日常良く実感し疲労感を伴う。足むくみの原因は立ちっ放しや座りっ放し等による血行不良や水分代謝が影響し、解消する為にマッサージや軽い運動などが行なわれている。入浴は、血流増加、水圧などにより足むくみ改善が期待されるが、入浴剤による報告はほとんどない。そこで、水分摂取が足むくみに及ぼす影響と、誘発後の入浴剤による改善について検討した。<方法> 1. 水分摂取が足むくみに及ぼす影響について、健常者 7 名を対象に脛脛周囲径の変化を指標に検討した。試験室入室後、椅子座位の姿勢を保ち、水分摂取の有無による脛脛周囲径の影響を経時的に測定した。2. 硫酸マグネシウム含有炭酸ガス入浴剤使用による足むくみ改善に関して、健常者 9 名を対象に検討した。試験室入室後、足むくみを誘発し、入浴前後の脛脛周囲径、体積を測定した。3. 硫酸マグネシウム含有炭酸ガス入浴剤使用による足むくみ改善に関して、健常者 6 名を対象に検討した。試験室入室後、足むくみを誘発し、入浴前後の脛脛皮膚温、血流、周囲径を測定した。<結果> 1. 水分摂取の足むくみに及ぼす影響について検討した結果、水分非摂取群と比較して、水分摂取群が有意に脛脛周囲径を増加させた。2. 入浴剤群は、さら湯群と比較して、脛脛周囲径の有意な減少、体積の減少傾向がみられた。3. 入浴剤群は、さら湯群と比較して、脛脛血流の有意な増加、脛脛周囲径の減少、皮膚温の上昇傾向がみられた。<考察> 椅子座位による脛脛のむくみは、水分摂取により助長された。硫酸マグネシウム含有炭酸ガス入浴剤は、さら湯と比較して、足むくみ誘発後の脛脛周囲径増加を抑制し、作用機序として皮膚血流改善が関与しているものと考えられた。